

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

たんぼぼ

日付 平成 21年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 福祉系大学教職員経験12年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

昼前ホームのリビングルームを訪ねると、女性の利用者が「ご無沙汰しています」「よくいらっしゃいました。お元気ですか」とこやかに微笑んで挨拶してくれた。一年に一度の訪問だが、皆さんよく覚えてくれると嬉しくなった。何でもよく手伝いをしていてお話しもよくしてくれていた女性が「いつでも私に云うんよ。うまくいかしら」と謙遜しながら生花をするようだ。花と花瓶が用意してある。職員の見守り中、職員に確認しながらも美しい生花が完成し、和室の床の間に飾った。ご主人が建築関係の仕事をしていた方は、相変わらず自分の家業の事を話してくれる。元気な時は夫妻で一生懸命仕事をしていたのだろう。いつも近寄ると怒って手を出したり、唾を吐いたりして男嫌いだった女性も今日はすごく落ち着いて、手に触ってもニコニコと愛相してくれた。皆元気だけれど、一年経つと徐々に認知症も進行していることが感じられた。今年は男性が4人に増えていた。大胆に毛筆で文字を一文字か二文字すぐ書いてくれていた最長老の男性が100歳になっていた。この人も挨拶するとニコリと笑ってくれた。何か始めてあったという感じでもなく、多少は記憶の隅にあるのかなあと思う。

このホームは学童保育と一緒にあって、朝や三時過ぎになると学童が庭で遊ぶ姿を見たり、中にはホームの中で自習する子供もいるという、子供と高齢者の共存している施設で、母体の学童保育の方の祭りにいつも利用者が参加していくスタイルだったが、去年はグループホームの主催で、学童保育の子供と保護者を招いて、このリビングルームを主会場として開催したそうだ。学童保育の父兄もグループホームの中をゆっくり見た事がないと希望もあって、居室以外のホームの施設一杯に100人以上の人が集まり、水戸黄門マラソンスタンプラリーをしたり、色々な場を観察してその後テストする(お風呂の色、何の花があった? 鯉が何匹? 等)。利用者と子供と職員も一緒にチームになって6組に分かれてゲームをして、得点を争った。一生懸命遊んだので、利用者はその日は熟睡したそうだ。

この交流会で、子供たちはおじいさん、おばあさんを人間として見ていたそうだ。児童にとっても貴重な体験だったに違いない。小学校の校長が「子供がこんなことをしてあげたら良いよ」と学校で言っていると教えてくれ、認知症ケアについての知識も授業にも取り入れたいとも考えているそうだ。

このホームは、1ユニットには勿体ないくらい広くて、リビングルームの廊下は幅が広く、一直線の長い廊下があって、催物も十分にできる。庭も広い。昔の長屋をイメージして建てたのだと管理者が言っていた。年々色々な事を積み重ねて楽しみのあるホームになった。

特に改善の余地があると思われる点

アセスメントについて、情報収集してケアに生かしているが、利用者の生活機能を細かく分析して、人間としての能力を明確にした上で、介護計画作成やケアの業務に生かせるよう考えていきたいと思います。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：開設以来の理念は、このホームの利用者の永遠の思いを表しているため改善の必要もない。そして認知症ケアの究極の目標でもある。</p> <p>2、全体的に見て…：ここでは、その人らしい生活を送ってもらいたいというのが一番の目標である。人間は怒ったり、喜んだりするのは自然なスタイルであり、この感情を妨害することはできない。そして、その人の性格や本質を崩さないようにしてあげねばならない。その人らしく生きるという事は、自分の思っていること、希望すること、嫌なこと等遠慮なくものが言えることである。結局我がままが言える関係づくりをする。こんな生活ができる事で、「ここへ居て良かった」と言ってくれる。これが自分が入りたいグループホームだと管理者は考えていた。前に聞いた事がある、考えは全くふれていない。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：生活空間について、ハード面から見ても当然であるが、利用者職員、子供達を含めた人達がここで行動や生活をしているソフト面についても全く申し分ないと考えている。</p> <p>2、全体的に見て…：代表者の所有していた田を埋め立てて、ゆったりとした土地があり、道路の右側には小学校が見える。左に曲がり、この施設の前庭に入ると、正面は学童保育があり、その奥に訪問介護ステーションがある。外を回り込んでグループホームの入口に着く。ホームの中に入ると、先ず広い幅の板張りの廊下が真直ぐに奥に広がる。学校の廊下より広い感じで、何と広いと思う。グループホームにこんな廊下とっていると、長屋のイメージだそう。居室が並んでいる長屋の前面道路を表現しているのだろう。1ユニットのホームからすると想定外である。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	評価	不能
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援	評価	不能
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ケアマネージメントに関する評価基準の各項目について改善しなければならないところはない。この管理者も認知症ケアについて論理的な思考で考えている業界の中で数少ない人物であると思う。人間とか認知症について、あるいはケアをしていくためのシステムについて、今後のホーム運営が楽しみである。</p> <p>2、全体的に見て…：毎日日々のケアを積み重ねている中から管理者の一言が印象的だった。「認知症ケアのゴールはない。日々のケアを続けている職員のモチベーションも下がっていく」という懸念のある気持ちを想像する。認知症ケアについては、まだ認知症になる病気の解明もできていない。人間として何をすれば良いかも考えている時間もないという段階で、認知症の人がホームに入所して以来、人間味を回復して人間らしい表情や生活ができるようになってきている事実はあるが、このような機能改善に努力したことに対し、公的にその結果を評価する制度もない事も大きな問題である。社会的改善が必要である。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：毎年、この基準で自主評価をしてもらっているが、外部評価も含めて、ホームのケアやサービスに対する質が向上している事業所に対し、こんな基準で評価すること自体何の意味があるのかと矛盾を感じながら私共の評価機関として残念に思っているところである。認知症のこと、認知症ケアを理解した基準に改良していきたいと思っている。このホームに対しても申し訳ないと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者の高齢化が進み、認知症も重症化が進んで行く利用者の機能低下が進んでいき、特に下肢能力の低下や平衡感覚の低下などが起こってくる。このような状態を職員が見て、どのようなケアをするか、どのような生活方法にするか等検討することになるが、転倒・骨折というケガをさせないよう、機能低下の状況や原因を見抜く職員の判断力も養う必要があると管理者も心配している。</p>		